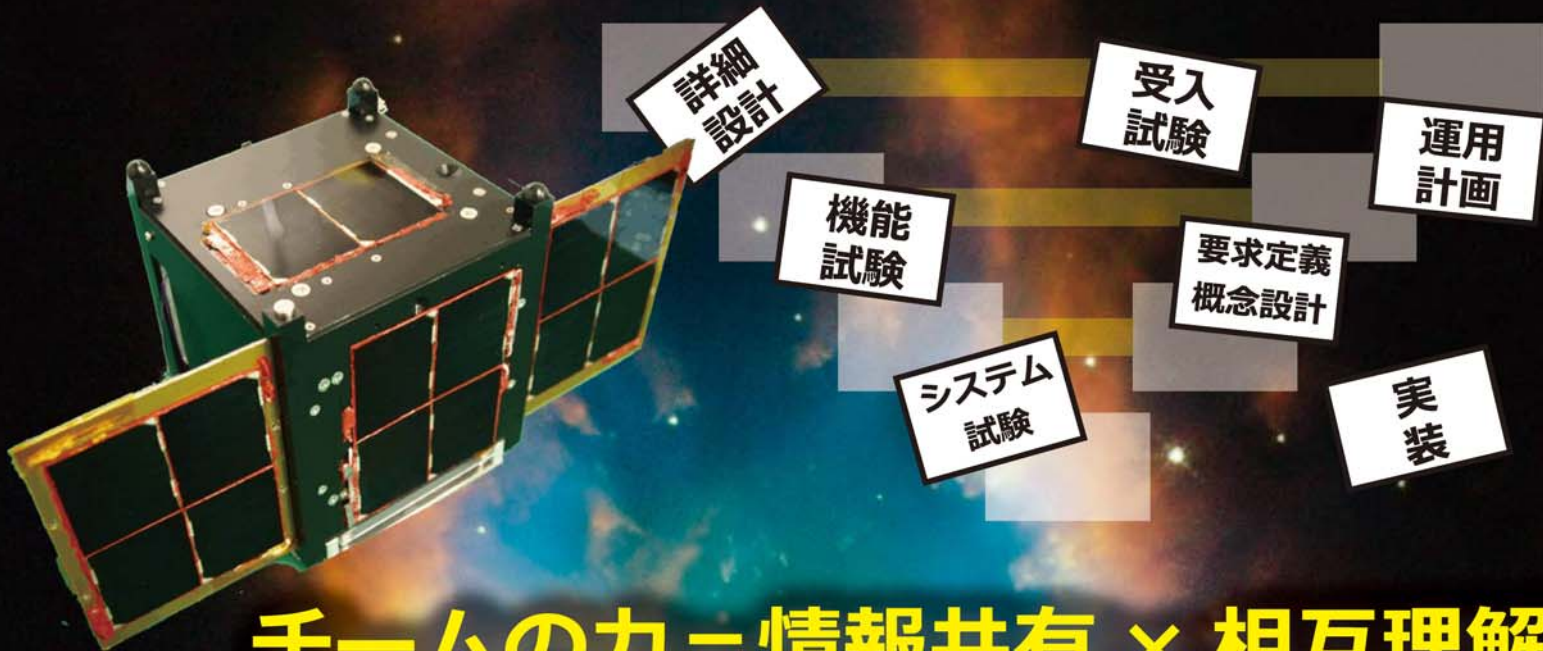


2015年11月15日(日)開催

# 「モデルベースで学ぶシステムズエンジニアリング」

主催：日本機械学会 宇宙工学部門

共催：NPO 法人大学宇宙工学コンソーシアム



## チームの力 = 情報共有 × 相互理解



人工衛星の要求・仕様・試験計画などの情報をシステムモデルによって表現し、クラウド上で一元的に管理・共有することのできる話題のWEBアプリケーションBALUSを用いた実践的なセミナーを開催します。



### ◆プログラム◆

- 講演 (1) 「模擬人工衛星 CanSat 開発を通してシステムズエンジニアリングを学ぶ (SPindle と CanSat Challenge)」
- 講演 (2) 「1U-CubeSat 標準バス OPUSAT-KIT とシステム開発支援ツール BALUS の紹介」
- 実践ワークショップ 「モデルベースな要求分析の基礎を学ぶ」



坂本 啓 先生 (講師)

東京工業大学 大学院理工学研究科機械宇宙システム専攻・准教授。専門は宇宙構造物工学。AXEL SPACE CUP 主催者。OrigamiSat-1 実施責任者。



南部 陽介 先生 (講師)

大阪府立大学 大学院工学研究科航空宇宙海洋系専攻・助教。専門は宇宙構造物工学。超小型衛星 OPUSAT および OPUSAT-II 実施責任者。



三浦 政司 先生 (ファシリテータ)

鳥取大学 大学院理工学研究科 機械宇宙工学専攻 機械工学講座・助教。専門は制御工学、マルチエージェントシステム



### ◆開催日◆

2015年11月15日(日)

#### 第1部：レクチャー

10:00-12:10 (午前 9:30 受付開始)

#### 第2部：実践ワークショップ

13:30-16:45

### ◆会場◆

東京工業大学 大岡山キャンパス  
石川台5号館3階 デザイン工房

### ◆申し込みフォーム◆

<http://goo.gl/forms/kHrrkQtjy6>



◆定員◆ 50名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

◆対象◆ 宇宙システム設計に興味のある高校生、大学生を中心としますが、講演内容に興味のある一般の方もご参加可能です。当日は、BALUSを使用するため、無線LANでインターネットに接続可能なノートパソコンをご持参下さい。

◆参加費◆ 無料